

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

(仮称)ヴェルディ光町二丁目 新築工事

配 慮 事 項			評価点	重み係数	内 訳			
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進								
1.1 建物の熱負荷抑制								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.25	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御
低炭素建築物の認定を取得予定	5.0	0.75	LRI	エネルギー	1	建物外皮の熱負荷抑制		
小計	4.5	0.14						
1.2 自然エネルギーの利用								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LRI	エネルギー	2	自然エネルギー利用		
小計	3.0	0.05						
1.3 設備システムの高効率化								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LRI	エネルギー	3	設備システムの高効率化		
節水型器具の採用								
小計	5.0	0.26						
1.4 設備システムの効率的運用								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング
	3.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅以外の評価	4.2 運用管理体制
	3.0	0.50	LRI	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅の評価	4.1 モニタリング
	3.0	0.50	LRI	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅の評価	4.2 運用管理体制
小計	3.0	0.10						
1.5 資源・マテリアル対策								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.10	LRI	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水
	3.0	0.15	LRI	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用
	0.0	0.00	LRI	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用
	2.0	0.08	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減
	3.0	0.15	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用
	3.0	0.15	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用
	1.0	0.15	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
	2.0	0.08	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材
	3.0	0.15	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み
小計	2.6	0.31						
1.6 ライフサイクルCO2排出率								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	4.8	1.00	LRI	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮		
条例に定められた緑化面積を確保し、温暖化に配慮。								
小計	4.8	0.13						
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価			3.8	0.68				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進								
2.1 温熱環境の向上								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出		
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上
	2.0	0.27	LRI	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善
小計	1.8	0.96						
2.2 交通負荷抑制								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LRI	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制
小計	3.0	0.04						
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価			1.8	0.17				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進								
3.1 耐用性の向上								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.50	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	2.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
小計	2.9	0.44						
3.2 設備の更新性								
(コメント) ※設計の計画 upset段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	2.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
小計	2.8	0.56						
3. 「長寿命化対策」の推進の評価			2.8	0.14				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)			3.3					